

## バイオマス利活用施設の概要

作成日：平成 19 年 8 月 31 日

作成者：(財)日本システム開発研究所

	【施設名称】
	川西有機センター
	【事業主体】
	十日町市
	【所在地】
	新潟県十日町市
	【運転開始年】
	平成 17 年 (2005 年)
原材料および利用量	生ゴミ、豚ふん、キノコ廃菌床、もみ殻
生産物 (種類)	たい肥
利用方法	販売 (400 円前後 / 15 kg) 散布
導入目的・経緯	十日町市川西地区 (旧川西町) では「住民総参加による環境と人にやさしい地域作り」を目指す事業を推進することとし、その一環として廃棄物堆肥化により環境負荷の軽減を図ることとした
設備仕様	川西有機センター 鉄骨平屋建 1,695 m <sup>2</sup> 処理量は 4.9 t / 日 (うち生ゴミ 1.5 t、豚ふん 1.5 t、きのこ廃菌床 1.8 t、もみ殻 0.1 t) 年間たい肥生産量 595 t
稼働状況	
経済性関連データ	総事業費 460,000,000 円 国庫補助「15・16 年度バイオマス利活用フロンティア整備事業」を活用
導入効果	家庭からの生ゴミや家畜排せつ物等、身近な廃棄物系バイオマスとして利活用推進することによって、環境に負荷をかけない資源循環型社会構築に寄与
運営上の課題	農地への適切なたい肥の施肥量を算出し、利用の促進を図ること
備考・参考資料	・平成 17 年度北陸管内におけるバイオマス利活用の取組事例集